

浜通り地方の 復旧・復興加速化 ～事業概要～

一歩ずつ未来へつなぐ

松川大洲地区海岸・大浜地区海岸



ふくしまから
はじめよう。

2019年度版

福島県土木部

本年、改元がありますが、本書では現行元号を使用して表記しています。
なお、西暦との対応関係は以下のとおりです。

平成31年度(2019年度)

平成32年度(2020年度)

平成33年度(2021年度)

平成34年度(2022年度)

平成35年度(2023年度)

平成36年度(2024年度)

目次

東日本大震災の被害状況と完了見通し

避難指示区域の推移	P. 2
東日本大震災の被害	P. 3
東日本大震災で被災した公共土木施設の復旧	P. 4
津波被災地における復旧・復興事業の完了見通し	P. 5～6

避難されている方々の住宅対策

復興公営住宅による安心・安全なまちづくり	P.7～ 8
応急仮設住宅による住まいの確保と適切な維持管理	P.9
住宅の復興支援によるくらしの基盤づくり	P.10

津波被災地の復興まちづくり

総合的な防災力の高い復興まちづくり	P.11～12		
新地町(新地駅周辺)	P.13～14	相馬市(原釜・尾浜地区)	P.15～16
南相馬市	P.17～18	浪江町	P.19～20
双葉町	P.21～22	大熊町	P.23～24
富岡町	P.25～26	楡葉町	P.27～28
広野町	P.29～30	いわき市(久之浜地区)	P.31～32
いわき市(四倉地区)	P.33～34	いわき市(沼ノ内地区)	P.35～36
いわき市(薄磯地区)	P.37～38	いわき市(豊間地区)	P.39～40
いわき市(永崎地区)	P.41	いわき市(岩間地区)	P.42

復興を支える道路や物流基盤の整備

本県の復興に向けたふくしま復興再生道路の整備	P.43～46
トピックス(相馬福島道路、常磐道4車線化、追加IC等の整備)	P.47～48
港湾整備による地域産業の復興と国際物流の支援	P.49～50
漁港整備による水産業の復興支援	P.51～52

震災の記憶と教訓の伝承

復興祈念公園の整備	P.53
-----------	------

産業・雇用の創出

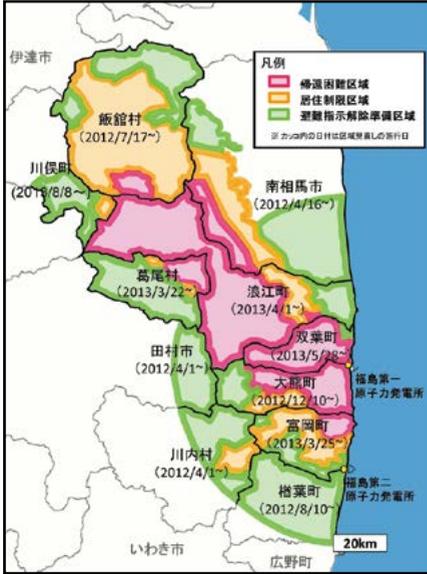
福島イノベーション・コースト構想	P.54
------------------	------

住民帰還への取組

特定復興再生拠点区域	P.55～57
------------	---------

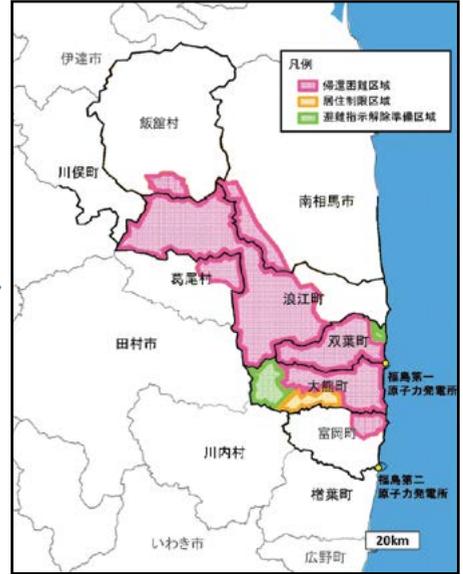
避難指示区域の推移

平成25年8月8日



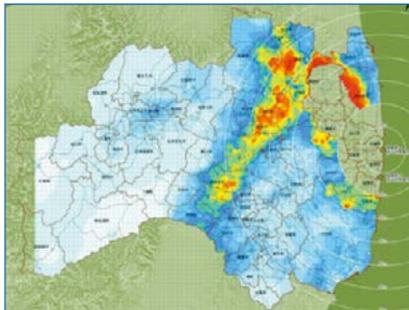
出典:経済産業省ホームページ

平成29年4月1日



福島県内の空間放射線量の推移

◆ 福島県環境放射線モニタリング・メッシュ調査結果等に基づく福島県内の空間線量率マップ



平成23年4月12日～16日



平成30年4月20日～7月5日

引用:ふくしま復興のあゆみ<第21版>

【復興の理念】

1. 復旧・復興を成し遂げること、それが私たちの「使命」
2. 山積する課題に立ち向かうこと、それが私たちの「挑戦」
3. 子供たちの未来を切り拓くこと、それが私たちの「責任」
4. ふくしま復興の軌跡を残すこと、それが私たちの「誇り」

東日本大震災の被害状況と完了見通し

東日本大震災の被害

被害の概要

最大震度 **震度6強** (平成23年3月11日)

県全体の被害総額 **9,826** 億円 (平成24年11月30日発表)

■福島県災害対策本部 (平成31年3月5日発表)

死者 **4,097**人 行方不明者 **2**人

(全壊)15,435棟 (半壊)82,783棟 (一部損壊)141,053棟

避難者 **41,299**人

(県内等)8,655人 (県外)32,644人

■福島県内の公共土木施設 (平成23年4月27日発表)

公共土木施設被害箇所 **4,949**箇所

公共土木施設被害額 **3,162**億円

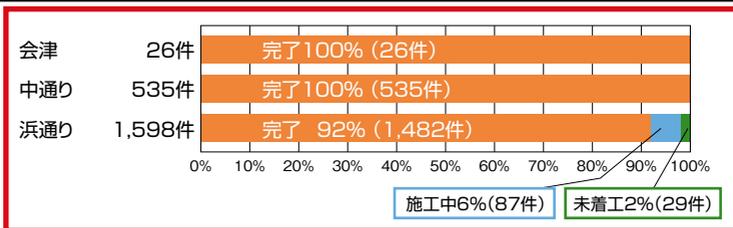
災害に伴う通行止め **108**路線 **169**箇所

※平成31年3月5日現在 (4路線 6箇所)

東日本大震災で被災した 公共土木施設の復旧

(平成31年2月末現在)

公共土木施設等 災害復旧工事箇所	査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数		完了 見通し <small>※帰還困難区 域を除く</small>
		着工率 (%)	完了率 (%)			
計	2,159	2,130	98%	2,043	94%	
河川・砂防	289	280	96%	258	89%	H32年度
海岸	161	157	97%	134	83%	H32年度
道路・橋梁	811	802	98%	792	97%	H32年度
港湾	331	331	100%	331	100%	完了
漁港	470	463	98%	431	91%	H32年度
下水	3	3	100%	3	100%	完了
公園・都市施設	5	5	100%	5	100%	完了
公営住宅	89	89	100%	89	100%	完了



【参考】避難指示区域内の進捗状況

避難指示解除準備区域及び居住制限区域等は、既に災害査定が終了しています。帰還困難区域では、査定継続中です。
 ※避難指示を解除した田村市、南相馬市、葛尾村、川内村、楡葉町、浪江町、川俣町、飯館村、富岡町の区域を含む。

査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数	
	着工率	完了率		
373	344	92%	267	71%

内76箇所は帰還困難区域

査定決定数 (箇所数)	着工件数		完了件数	
	着工率	完了率		
76	60	78%	46	60%

津波被災地における 復旧・復興事業の 完了見通し

趣旨

○津波被災地(帰還困難区域を除く)の復旧・復興事業について、平成31年度までに96%、復興・創生期間の最終年度である平成32年度までに概ね完了の予定です。

1 各事業の完了見通し

※平成31年2月8日公表(()内はH30.2.7公表数値)

対象施設	事業内容	完了年度	事業箇所	事業進捗見通し(箇所・地区・工区数[累計])			
				H29迄	H30迄	H31迄	H32迄
①河川	被災した河川の堤防を復旧または新たに築造・かさ上げする	(H32) H32	(31) 31	(18) 18	(25) 24	(28) 26	(31) 31
②海岸	被災した海岸の堤防を復旧または新たに築造・かさ上げ及び消波堤や離岸堤等の復旧をする	(H32) H32	(86) 86	(60) 60	(79) 78	(84) 83	(86) 86
③排水機場	被災した排水機場を復旧する。(海岸堤防に隣接し湛水被害を防止するポンプ場や樋門などの復旧)	(H30) H32	(37) 38	(29) 29	(37) 35	(37) 37	(37) 38
④港湾・漁港	被災した港湾及び漁港の防波堤や岸壁等の施設を復旧する	(H32) H32	(15) 15	(10) 10	(14) 14	(14) 14	(15) 15
⑤道路	被災した道路を原形に復旧する	(H32) H32	(304) 304	(299) 299	(300) 300	(300) 300	(304) 304
⑥津波被災地道路	津波の襲来前に内陸部や高台に速やかに避難するための道路(バイパス・拡幅)を整備する	(H32) H32	(21) 21	(14) 14	(19) 18	(20) 20	(21) 21
⑦防災緑地	津波を軽減し、市街地を守るために新たに植樹や盛土を築造する	(H31) H31	(10) 10	(3) 3	(7) 8	(10) 10	(10) 10
⑧海岸防災林	津波や飛砂、強風等から農地を守る防災林を新たに築造する	(H32) —	(9) 9	(1) 1	(1) 1	(3) 3	(9) 8
⑨治山施設	被災した治山施設(防潮堤、護岸工、盛土)を復旧する	(H31) H31	(10) 10	(7) 7	(9) 9	(10) 10	(10) 10
全体			(523) 524	(441) 441 84%	(491) 487 94%	(506) 503 97%	(523) 523 100%) 99%

※津波による被災を受けた、浜通り沿岸部の9市町村(新地町、相馬市、南相馬市、浪江町、双葉町、富岡町、楡葉町、広野町、いわき市)内の事業。

※帰還困難区域、および内陸部の事業を除く。(帰還困難区域内について新たに災害査定を受けているが、完了見通しについては、他機関との調整等に影響されるため、本表から除外している)

※海岸防災林(浪江町:浪江地区)は、環境省と旧避難指示区域内の仮置場等の撤去及びその範囲の工事着手について調整中。

※排水機場の箇所数について、平成30年度新たに工事着手(浪江町:棚塩)したことから1箇所追加。

2 今後の進捗見通し(概況)

【市町村別の進捗見通し】

- H29で全事業完了 : 広野町
- H31で全事業完了予定: 楢葉町、いわき市
- H32で全事業完了予定: 新地町、相馬市、南相馬市、双葉町、富岡町

【年度別の進捗見通し】

●平成31年度

- 原釜・尾浜地区(相馬市)、久之浜地区(いわき市)の2地区が完了し、防災緑地(10地区)が全て完了予定。
- 南川原地区治山施設(双葉町)が完了し、治山施設(10地区)が全て完了予定。

●平成32年度

- 河川(31箇所)、海岸(86箇所)、漁港・港湾(15箇所)が全て完了予定。
- 道路(304箇所)が全て完了予定。
- 津波被災地道路(21箇所)が全て完了予定。
- 排水機場(38箇所)が全て完了予定。

相馬市の原釜・尾浜海水浴場が、平成30年7月21日に8年ぶりに再開しました。



平成29年度完成の松川大洲地区海岸・大浜地区海岸・市道大洲松川線(H30.4開通)ではウォーキングイベントが開催され、県内外から多くの方に参加いただきました。



平成30年9月16日開催「みちのく潮風トレイル」ウォーキング

復興公営住宅による 安心・安全なまちづくり

【原発避難者向け復興公営住宅】(H30年度末時点)

・計画4,890戸のうち**4,767戸(97%)**が完成しました。

【帰還者、新規転入者向け住宅】

・大熊町からの要請を受け、**大川原地区の復興拠点内に町営の帰還者向け住宅等を県が代行で整備しています。**



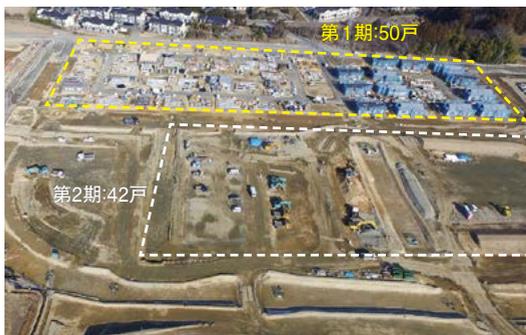
完成した復興公営住宅(県営)



避難指示区域の住宅対策(大熊町大川原地区(県代行事業))



帰還者向け(第1期)
完成イメージ



帰還者向け住宅整備状況



転入者向け住宅:広場イメージ

応急仮設住宅による 住まいの確保と適切な維持管理

仮設住宅9,382戸の適切な維持管理

※平成31年1月31日時点

目標

避難生活の長期化等に対しても、良好な居住環境を維持するため、適切な管理に努めます。

応急仮設住宅を点検し修繕する取組

良好な居住環境の
支援



応急仮設住宅供与終了後の取組

応急仮設住宅を無償で譲渡します

供与終了後の応急仮設住宅の本体及び付帯設備を希望する市町村、公益法人、NPO法人、地域振興等に寄与する民間企業へ無償で譲渡します。

応急仮設住宅を活用した定住・二地域居住を支援します

市町村が応急仮設住宅を活用して定住・二地域居住を推進する“お試し住宅”等を整備する場合、「再利用設計」と「建築資材」を提供します。



住宅の復興支援による くらしの基盤づくり

空き家・ふるさと復興支援事業

空き家を活用した住宅再建を支援します

被災者や避難者の住宅再建を推進し、地域の活性化や復興を図るため、空き家の改修等に要する経費の一部を補助します。

ふるさと帰還に向けた住宅調査支援事業

避難指示を受けた市町村が行う住宅状況調査を支援します

避難者の住宅再建・帰還を促進し、まちの活気を呼び戻すため、避難指示を受けた市町村が行う住まいの状況調査に補助します。

多世代同居・近居推進事業

子育て環境の充実等を図るため、多世代が同居・近居するための住まいづくりを支援します

親世帯と子ども世帯が同居・近居するための新築・中古住宅の取得、二世帯住宅へのリフォーム工事に要する経費の一部を補助します。

ふくしまの未来を育む森と住まいのポイント事業

県産木材を活用した住まいづくりを支援します

県産木材を活用した住宅に県産品と交換可能なポイントを交付します。

【交付ポイント】

一般：20万円相当

被災者等：30万円相当



詳しくは **福島県建築指導課** で検索してください。

総合的な防災力の高い 復興まちづくり

最大9.3m以上の津波が発生し、沿岸部の
112km²が浸水被害

主な実施箇所



津波による住家被災状況 (新地町)



津波による住宅被災状況
(浪江町請戸漁港付近)



津波による海岸線の被災状況 (いわき市)



復興まちづくりの進め方

津波による浸水被害を受けた地域で、総合的な防災力の高いまちづくりを目指します。

○復興まちづくりのイメージ



海岸堤防の高上げ、防災緑地、道路、土地利用の再編など複数の手法を組合わせた「多重防御」と、避難路の確保や情報伝達手段の拡充などによる、ソフト・ハード両面からの総合的な防災力向上を目指します。

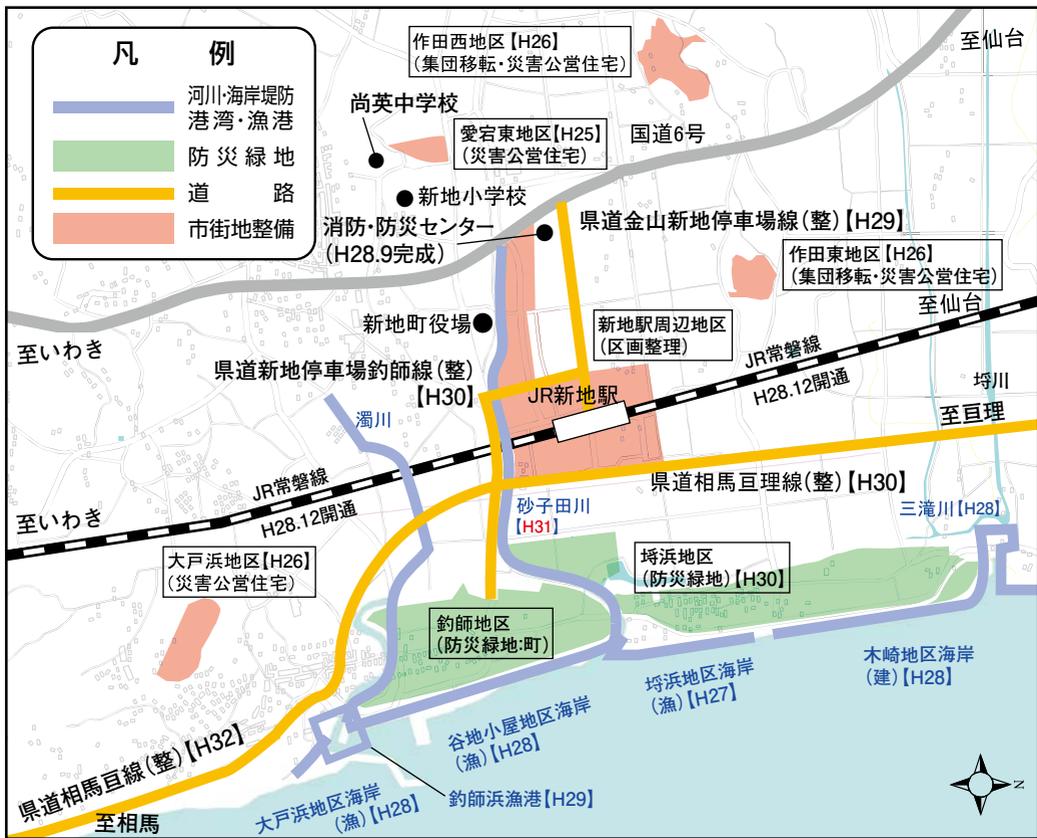
豊間地区(いわき市)における復興まちづくり



新地町 新地駅周辺

復興まちづくりの基本的視点

- ① 命と暮らし最優先のまち
- ② 人と絆を育むまち
- ③ 自然と共生する海のあるまち



被災時の状況 谷地小屋地区海岸



小学生による現場見学会 平成30年11月27日開催

県道相馬亘理線



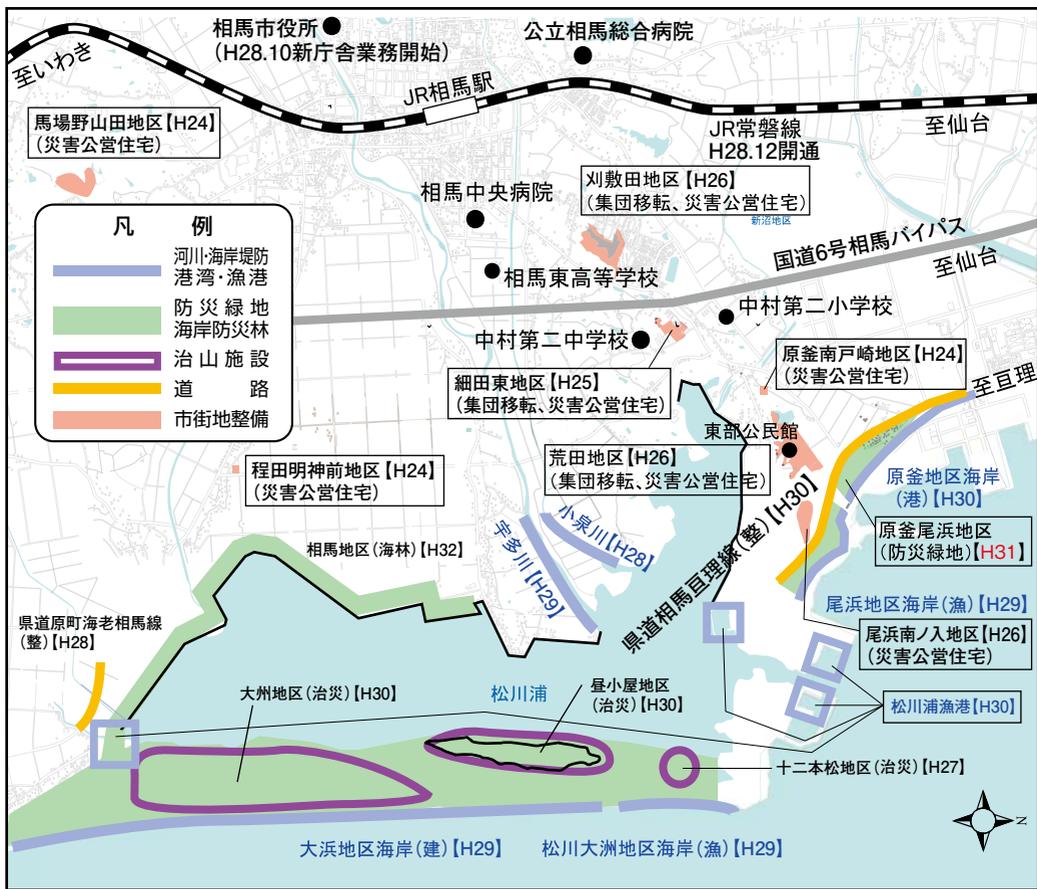
復旧・復興工事の状況(新地駅周辺地区)



はら がま お ばま
 そう ま し
相馬市 原釜・尾浜地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 観光産業に配慮したまちづくり
- ② 新たな地域社会の再構築
- ③ 新たな災害から人命や財産を守る



**被災時の状況
松川大洲地区海岸**



**第1回相馬復興サイクリング大会
平成30年9月30日開催**



復旧・復興工事の状況 (松川大洲地区海岸)



津波被災地の復興まちづくり

みなみ そう ま し

南相馬市



復興まちづくりの基本的視点

- ①地域の絆で結ばれたまちの再生
- ②創造と活力ある経済復興
- ③安全・安心のまちづくり



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平30東複、第65号)

被災時の状況 小沢地区海岸



福島ロボットテストフィールド 整備状況



復旧・復興工事の状況 (小沢地区海岸)



津波被災地の復興まちづくり

なみえまち

浪江町

復興計画(第二次)の基本方針

- 先人から受け継ぎ、次世代へ引き継ぐ“ふるさと”なみえを再生する
- 被災経験からの災害対策と復興の取組を世界や次世代に生かす
- どこに住んでいても、全ての町民の暮らしを再建する



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情複、第1428号)

復旧・復興工事の状況(棚塩地区海岸)

請戸漁港



復旧・復興工事の状況(請戸中浜地区海岸)



復旧・復興工事の状況(双葉中浜地区海岸)



復旧・復興工事の状況(郡山中野地区海岸)



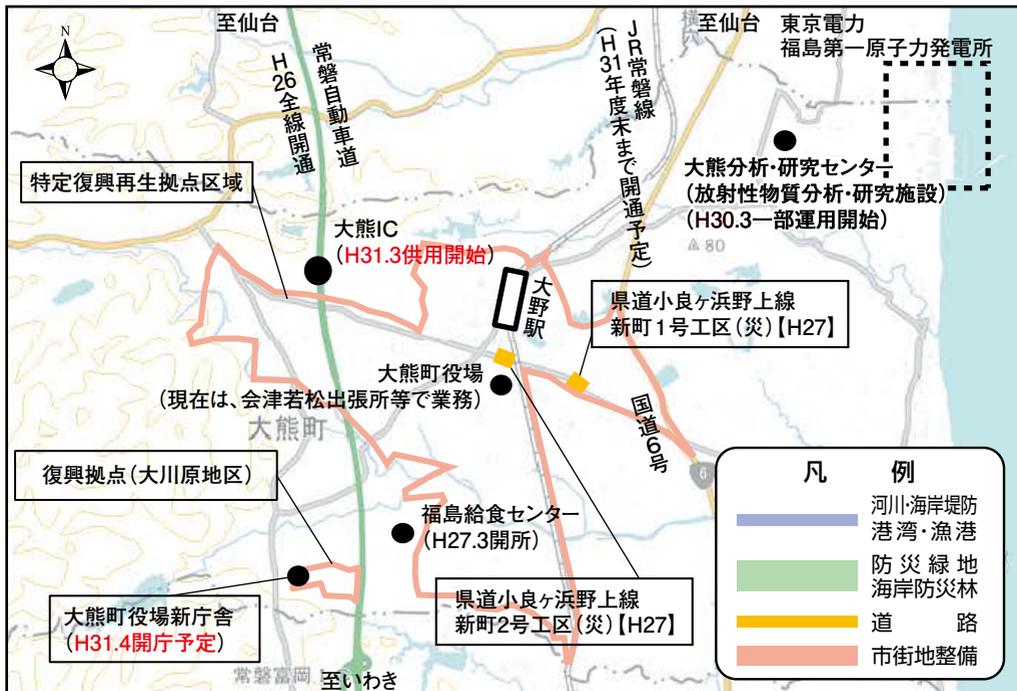
津波被災地の復興まちづくり

おおくままち

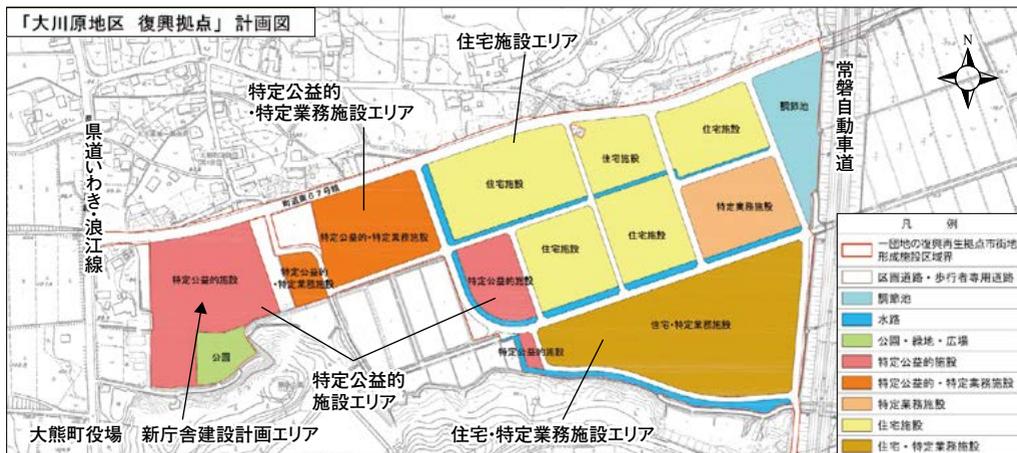
大熊町

復興計画(第二次)の基本理念

- ・「町民生活支援」「町土復興」を2本柱とし、「避難先での安定した生活」と「帰町を選択できる環境づくり」を目指します。



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情複、第1428号)



大川原地区 復興拠点 工事状況



災害復旧事業 小良ヶ浜野上線(新町1号工区)



津波被災地の復興まちづくり

とみおかまち

富岡町

災害復興計画(第二次)の基本理念

- ・町民一人ひとりの“心”の復興
- ・町民の心をつなぐ“ふるさと富岡”の復興



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

**堤防工事着手前状況
毛萱仏浜地区海岸**



**復旧・復興工事の状況
富岡川**



復旧・復興工事の状況 (毛萱仏浜地区海岸)



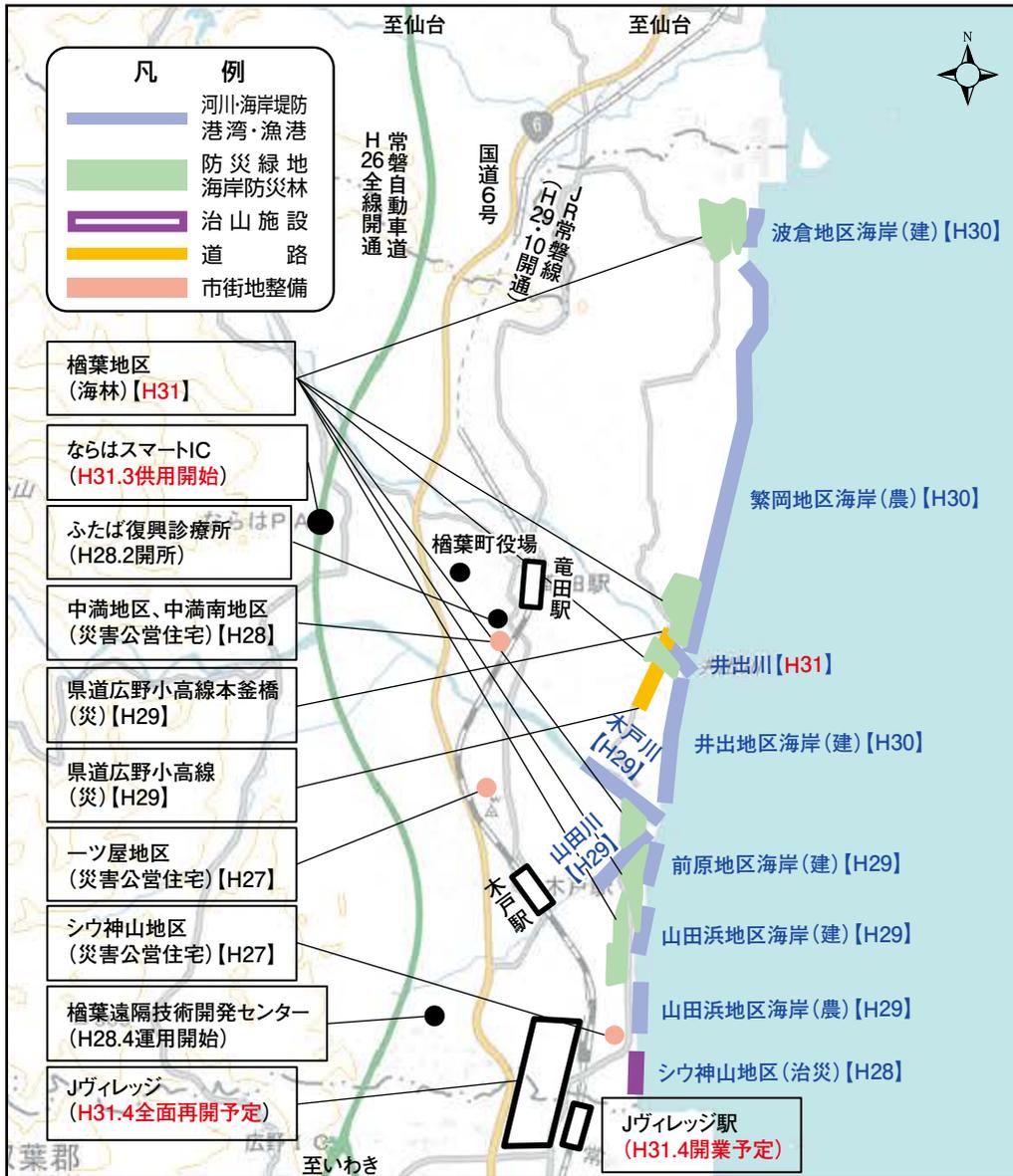
津波被災地の復興まちづくり

な ら は ま ち

檜葉町

復興計画(第二次)の基本理念

- ・安全・安心な生活の再建
- ・町民の主体的参画と自立
- ・次世代への継承
- ・広い視野に立つ復興



この地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の電子地形図(タイル)を複製したものである。(承認番号 平27情復、第1428号)

復旧・復興工事の状況（前原地区海岸・山田川）



復旧・復興工事の状況（井出地区海岸・井手川）



広野町



被災時の状況 浅見川地区



ひろの防災緑地サポーターズ クラブによる花壇整備



復旧・復興の状況(浅見川地区全景)



被災時の状況 久之浜地区



「久之浜防災緑地づくり協定書」 調印式(平成30年2月16日)



復旧・復興工事の状況(久之浜地区海岸全景)



いわき市 四倉地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 災害に強い地区づくり
- ② 「道の駅よつくら港」を復興のシンボルとした再生
- ③ 海浜レクリエーション地域の整備



被災時の状況 四倉漁港



県道豊間四倉線東舞子橋 平成31年1月19日開通



復旧・復興工事の状況(四倉地区海岸全景)



ぬま の うち
いわき市 沼ノ内地区

復興まちづくりの基本的視点

- ①市街地の安全性の向上
- ②観光振興、生活利便性の向上
- ③災害に強い市街地の形成



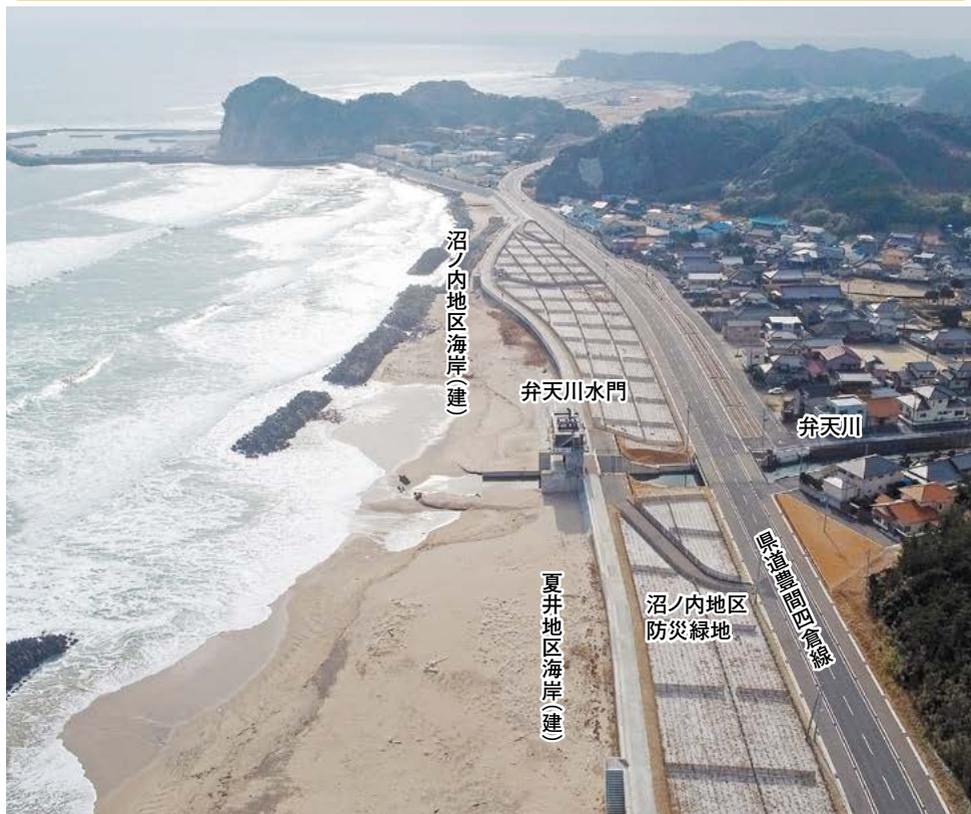
被災時の状況 沼ノ内地区海岸



学生による見学会 平成30年8月2日開催



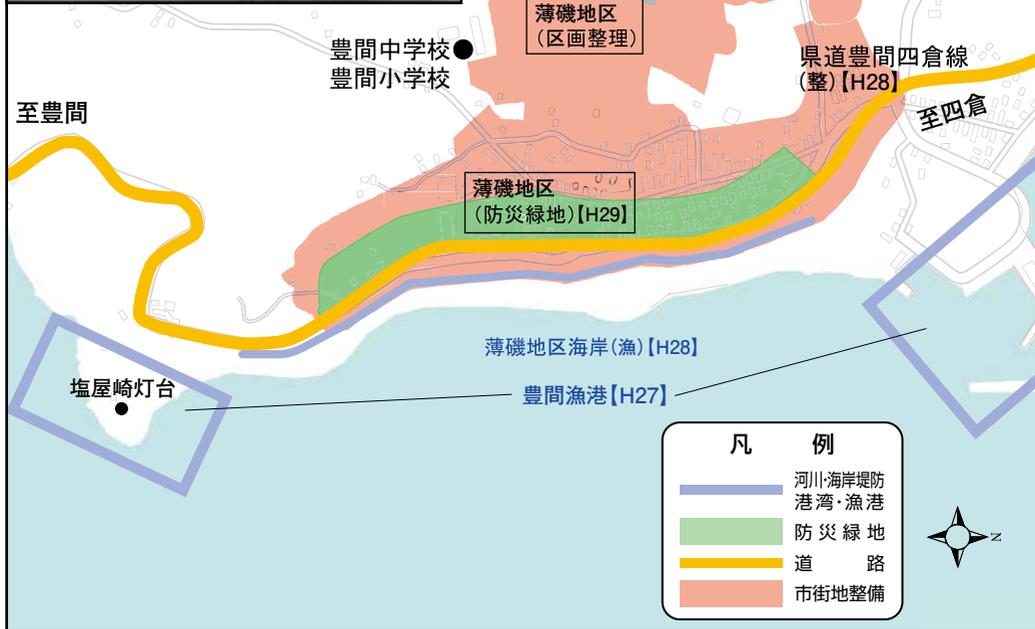
復旧・復興工事の状況(沼ノ内地区海岸全景)



うす いそ
いわき市 薄磯地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 快適な市街地の再生
- ② 観光振興、生活利便性の向上
- ③ 災害に強い市街地の形成



被災時の状況 薄磯地区海岸



薄磯海水浴場海開き 平成29年7月15日



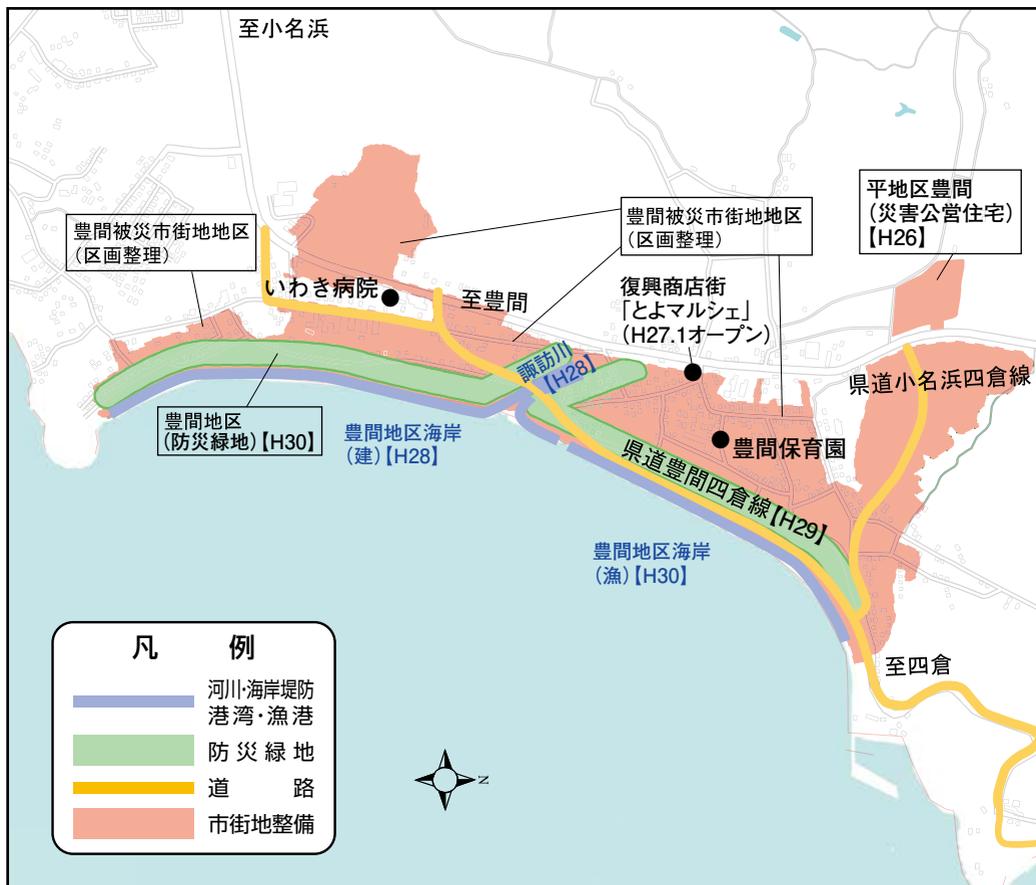
復旧・復興工事の状況(薄磯地区海岸)



とよま いわき市 豊間地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 快適な市街地の再生
- ② 観光振興、生活利便性の向上
- ③ 災害に強い市街地の形成



被災時の状況 豊間地区海岸



豊間防災緑地桜記念植樹 平成30年3月17日開催



復旧・復興工事の状況（豊間地区海岸全景）



いわき市 永崎地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 河川、海岸の防災対策
- ② 防災対策等による地域の安全性向上
- ③ 災害に強い市街地の形成



いわき市 岩間地区

復興まちづくりの基本的視点

- ① 快適な市街地の再生
- ② 海岸の防災対策
- ③ 災害に強い市街地の形成



本県の復興に向けた ふくしま復興再生道路の整備

目標

「ふくしま復興再生道路(8路線、29工区)」は、平成30年度までに11工区が供用し、残工区についても、平成30年代前半までの供用を目指し、整備を進めます。

復興整備の進捗(平成31年3月31日現在)

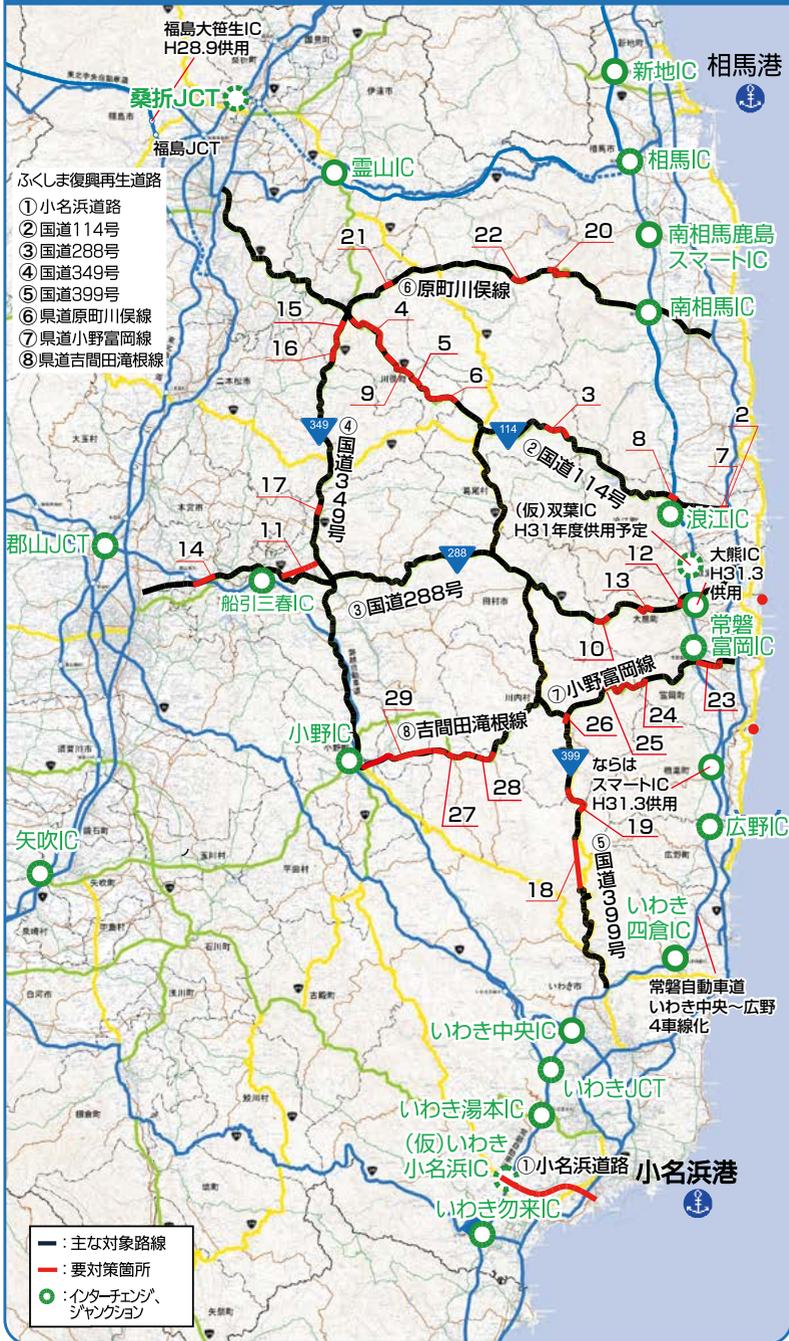
項目	箇所数	工事進捗率	
		調査設計	3箇所 10%
工区	29箇所	工事中	15箇所 52%
		供用	11箇所 38%

「ふくしま復興再生道路」整備箇所一覧

箇所番号	路線名	市町村名	工区名	調査設計	工事中	供用	
1	①小名浜道路	いわき市	小名浜道路		○		
2			浪江拡幅2		○		
3	②国道114号	浪江町	櫛平	○			
4			山木屋1		○		
5			山木屋2		○		
6		川俣町	山木屋3		○		
7			浪江拡幅1			○	
8			室原拡幅			○	
9			川俣町	小綱木バイパス			○
10		③国道288号	大熊町	野上小塚		○	
11				田村市	船引バイパス		○
12			大熊町	野上山神			○
13	玉ノ湯					○	
14	田村市			三春西バイパス			○
15	④国道349号	川俣町	大綱木2		○		
16			大綱木1		○		
17		田村市	新館		○		
18	⑤国道399号	いわき市	十文字				
19			戸渡		○		
20	⑥原町川俣線	いわき市 川内村 南相馬市 飯館村	八木沢			○	
21		川俣町	水境			○	
22		飯館村	芦原			○	
23	⑦小野富岡線	富岡町	高津戸	○			
24			富岡町 川内村	五枚沢2	○		
25		川内村	五枚沢1			○	
26			西ノ内		○		
27			小白井		○		
28		いわき市	吉間田			○	
29		⑧吉間田滝根線	田村市 小野町	広瀬		○	

供用とは、一般交通の用に供すること。

「ふくしま復興再生道路」整備箇所



JR常磐線

- 新地
- 駒ヶ嶺
- 相馬
- 日立木
- 鹿島
- 原ノ町
- 磐城
- 太田
- 小高
- 桃内
- 浪江
- 双葉
- 大野
- 夜ノ森
- 富岡
- 竜田
- 木戸
- ひら
- 広野
- 未統
- 久ノ浜
- 四ノ倉
- 草野
- いわき
- 内郷
- 湯本
- 泉
- 植田
- 勿来

運転再開済

平成31年度未だ再開見込み

運転再開済

平成31年4月開業予定



代行バス運行中

復興を支える道路や物流基盤の整備

ふくしま復興再生道路の完成箇所(H30年度)

県道小野富岡線 五枚沢1工区 平成30年9月28日 2.8km全線開通

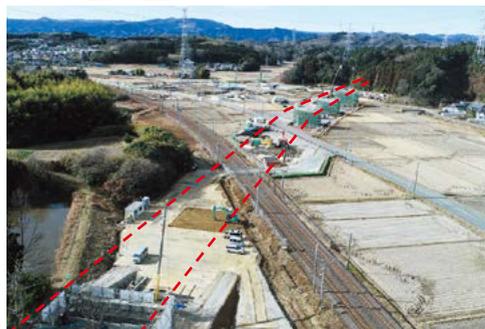


ふくしま復興再生道路の施工箇所

国道399号 十文字工区(いわき市) 計画道路延長6.2km



小名浜道路(いわき市) 計画道路延長8.3km



ふくしま復興再生道路の完成箇所(H29年度まで)

県道原町川俣線八木沢トンネル(南相馬市、飯舘村)
平成30年3月18日開通



県道原町川俣線芦原工区(飯舘村)
平成28年10月25日開通



国道288号野上山神工区(大熊町)
平成28年3月29日開通



国道114号浪江拡幅1工区(浪江町)
平成27年9月29日開通



国道114号小網木バイパス(川俣町)
平成27年6月28日開通



県道小野富岡線吉間田工区(いわき市)
平成27年3月24日開通



相馬福島道路(相馬玉野IC～霊山IC)の開通

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの高規格幹線道路(自動車専用道路)で、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。平成30年3月10日に「相馬玉野IC～霊山IC」間の17kmが開通し、全体の6割にあたる、計27.5kmが無料で通行できます。残る相馬山上IC～相馬IC間や霊山IC～桑折JCT間についても、早期開通に向けて整備中です。

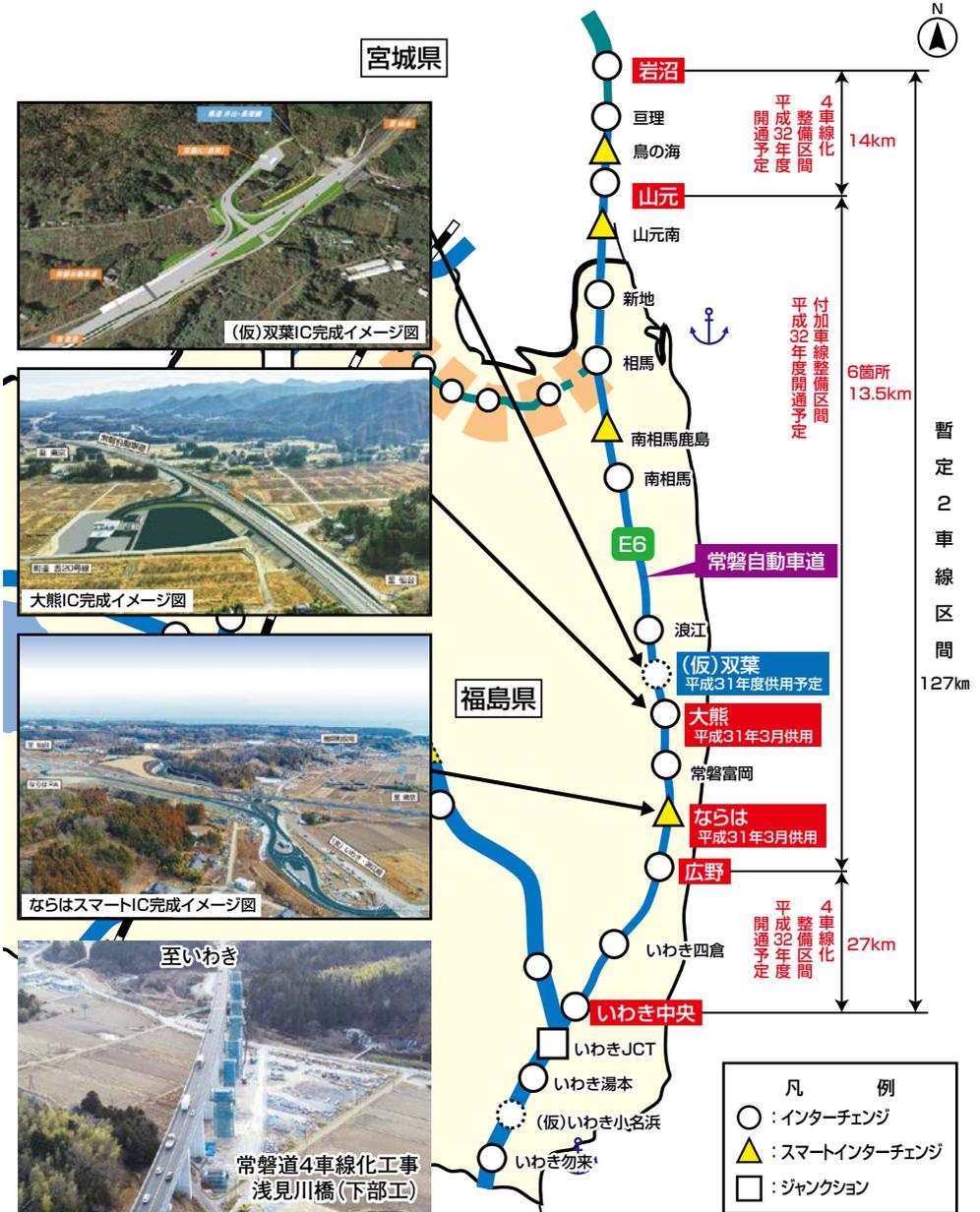


相馬福島道路は
無料で通行できます



常磐自動車道 4車線化、追加IC等の整備

常磐自動車道のいわき中央IC～広野IC間、山元IC～岩沼IC間の4車線化が、復興・創生期間である平成32年度までの完成を目指し、整備が進められています。また、広野IC～山元IC間の付加車線の整備や追加IC等も整備中です。



復興を支える道路や物流基盤の整備

港湾整備による 地域産業の復興と 国際物流の支援



取扱い貨物量の増加、船舶の大型化等に対応するため、港湾の整備を行います。

港湾の利用状況

相馬港 (2号ふ頭)



小名浜港 (5・6号ふ頭、7号ふ頭)



相馬港の整備状況

ふ頭用地の造成 (4号ふ頭) と
新たに立地した相馬LNG基地



臨港道路の整備 (4車線化)



LNGとは、天然ガスを冷却して液化したもので、都市ガスや発電所の燃料として使用されます。相馬 LNG 基地の整備により、仙台・新潟方面への天然ガスの安定供給が可能となります。また、基地に隣接して建設中である火力発電所の燃料としても利用されます。

小名浜港の整備状況

2020年のIGCC本格稼働による石炭貨物の大幅な輸入増加に対応するため、小名浜港東港地区を整備します。



IGCCとは、石炭を高温高圧のガス化炉を用いてガス化し、ガスタービンと蒸気タービンを組み合わせて発電することで、従来の石炭焚き火力発電に比べ、発電効率を向上させ、CO₂排出低減にも寄与する火力発電システムです。

漁港整備による 水産業の復興支援



漁港区域内の海岸を含めた**漁港施設の復旧**は、**平成32年度までの完了**を目指します。

10漁港の完了見通し

	港湾名	完了年度
1	釣師浜漁港	H29年度
2	松川浦漁港	H30年度
3	真野川漁港	H30年度
4	請戸漁港	H32年度
5	富岡漁港	H30年度

	港湾名	完了年度
6	久之浜漁港	H27年度
7	四倉漁港	H30年度
8	豊間漁港	H27年度
9	小浜漁港	H28年度
10	勿来漁港	H26年度

請戸漁港の復旧状況

被災状況(岸壁背後の沈下)



復旧状況(岸壁)



松川浦漁港の復旧状況

被災状況(岸壁崩壊)



復旧状況(岸壁)



水産業の復興

松川浦漁港(水揚げ)



真野川漁港(かしまみなとまつり)



請戸漁港(出初め式)



請戸漁港(出港状況)



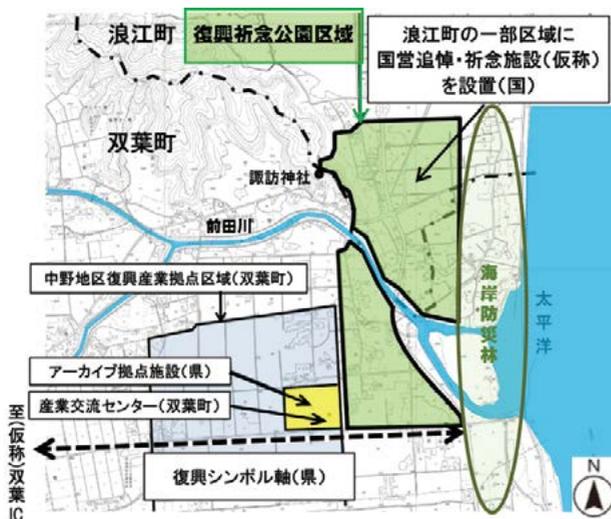
復興祈念公園の整備



取組の目的

東日本大震災の犠牲者への追悼と鎮魂、震災の記憶と教訓の伝承、復興への強い意志の発信等を目的に復興祈念公園を整備します。

公園区域



基本方針(国)

○国と県が連携し、岩手、宮城、福島の前被災3県に1か所ずつ復興祈念公園を整備します。

国・県の役割

○県が整備する復興祈念公園内の一部に、国が被災者の追悼・鎮魂等の中核的施設となる丘や広場等を設置します。
(面積は数ha程度)

双葉・浪江両町にまたがるエリア(中野・両竹地区)

取組の経緯

- 平成27年度 福島県における復興祈念公園の候補地決定
- 平成29年度 公園区域を都市計画決定(H29.6.2)
基本構想策定(H29.7.14)
国営追悼・祈念施設(仮称)を浪江町の一部区域に設置することについて閣議決定(H29.9.1)
- 平成30年度 基本計画策定(H30.7.6)
用地取得及び基本設計等
- 平成31年度 実施設計及び一部工事等(予定)

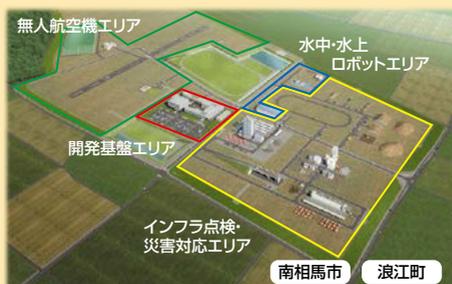
福島イノベーション・コースト構想

東日本大震災、原子力災害によって失われた浜通り地域等の産業を回復するため、新たな産業基盤の構築を目指すものです。廃炉やロボット技術、エネルギー関連産業、農林水産等の分野における産業集積や人材育成、交流人口の拡大等に取り組みます。

福島県浜通り
地域等の再生



福島ロボットテストフィールド



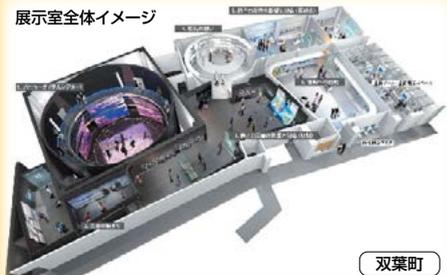
無人航空機、災害対応ロボット、水中探査ロボット等の研究開発、実証試験、性能評価、操縦訓練を行います。平成30年度以降順次開所。



試験用プラント
平成31年2月開所

情報発信拠点 (アーカイブ拠点施設)

展示室全体イメージ



双葉町

東日本大震災及び原子力災害の実態と復興への取組を正しく伝え、教訓として国を越え、世代を超えて継承・共有していきます。平成32年度開所予定。

再生可能エネルギー由来 水素プロジェクト



浪江町

浪江町(棚塩地区)において、再生可能エネルギーを用いた大規模水素製造、次世代の水素輸送・貯蔵技術の実証に取り組む。平成32年運転開始予定。東京五輪期間中に活用予定。

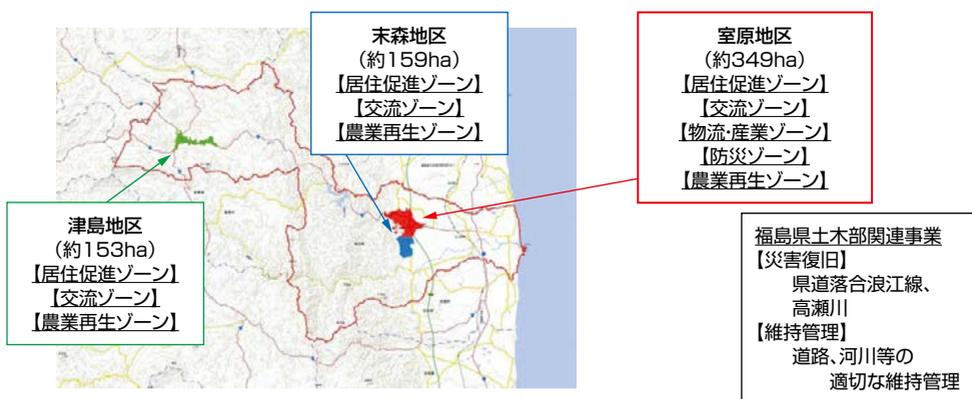
※土木部関連事業について掲載

特定復興再生拠点区域

特定復興再生拠点区域は、帰還困難区域のうち、避難指示を解除し、早期に原子力災害からの帰還者等の居住を可能とすることを旨とする区域です。各自治体は、5年後までに特定復興再生拠点区域の避難指示解除を目指し、除染やインフラ整備を進めていきます。

浪江町

計画期間:H29.12.22(認定日)~H35.3



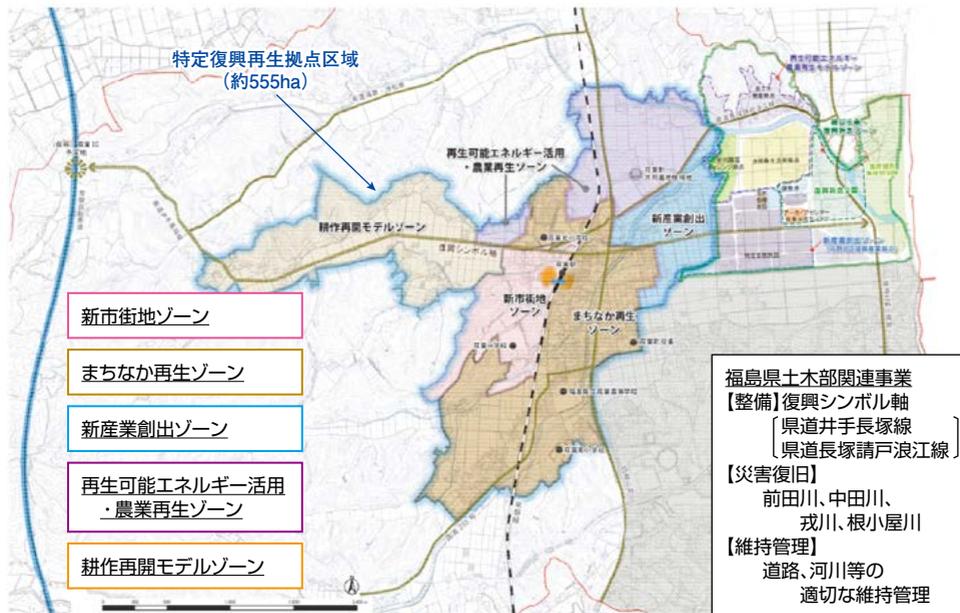
富岡町

計画期間:H30.3.9(認定日)~H35.5.31



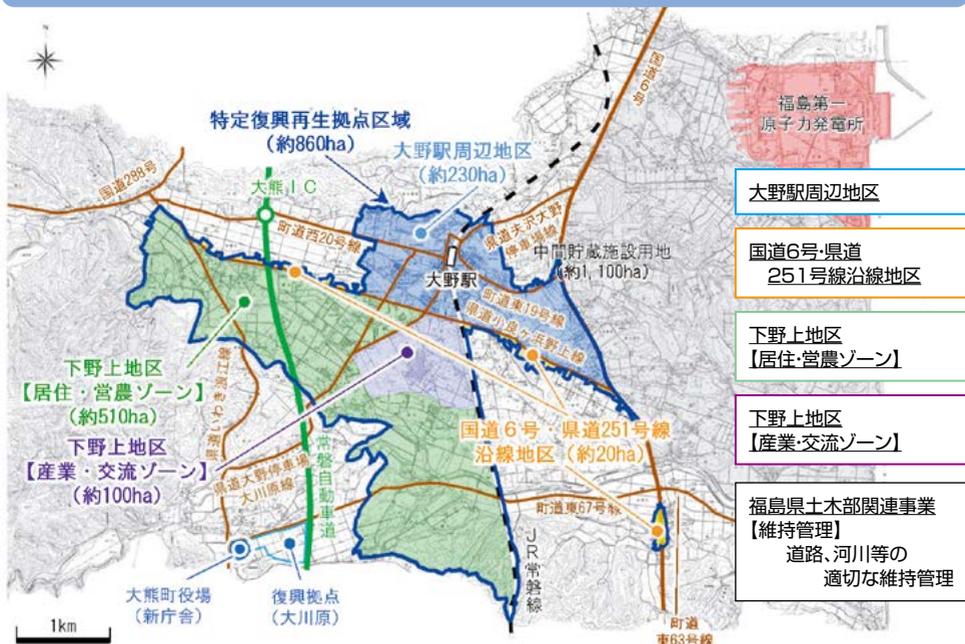
双葉町

計画期間:H29.9.15(認定日)~H34.8.31



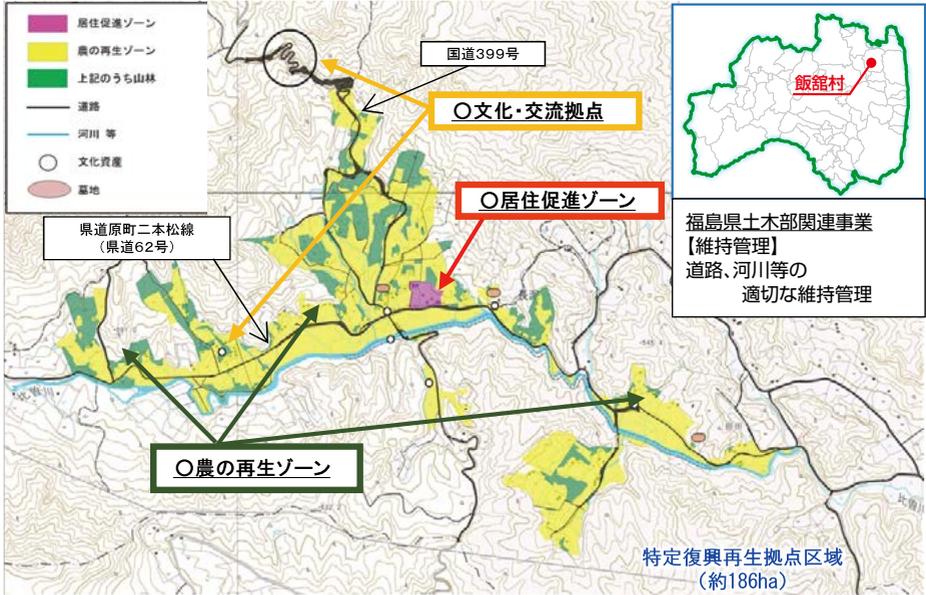
大熊町

計画期間:H29.11.10(認定日)~H34.9



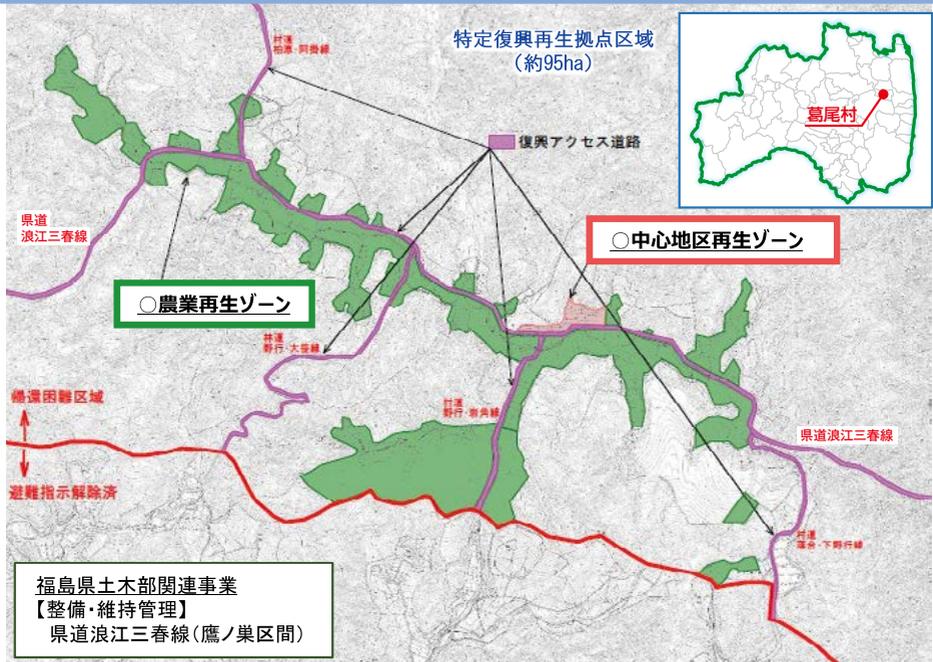
飯館村

計画期間:H30.4.20(認定日)~H35.5.31



葛尾村

計画期間:H30.5.11(認定日)~H34.9



本県の復旧・復興を応援いただいた派遣職員の皆さま



相双建設事務所 県道相馬亘理線(新地町)



いわき建設事務所 豊間地区海岸(いわき市)



相馬港湾建設事務所 松川大洲地区海岸(相馬市)



県北建設事務所
国道114号山末屋1工区(川俣町)



- 高速道路
- インターチェンジ
- スマートインターチェンジ
- 地域高規格道路
- 国道(国管理)
- 国道(県管理)
- 新幹線



福島県土木部

〒960-8670 福島県福島市杉妻町2-16 電話：024-521-7886

メールアドレス：dobokukikaku@pref.fukushima.lg.jp

■福島県公共土木施設 復旧・復興情報ホームページは

『福島県公共土木施設 復旧・復興情報』で検索してください。

福島県復興シンボルキャラクター
「ふくしまから はじめよう。キビタン」

承認を得て複製している国土地理院発行の電子地形図(タイル)をさらに複製する場合には、国土地理院の長の承認を得なければならない。

2019年3月31日

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。